



■ シロクマ ストーリー

全国各地は梅雨真っ只中で、朝晩もイヤなぐらい暑いですね。3ヶ月ほど原稿を書くのを休んでましたが、全日本パワーが終わりほとぼりが覚めたころ、昨夏紹介したシロクマジムに再度訪問した。

報告：コマンドー金澤

ソ連のシロクマ・・・安井篤史さんは、ジム移転の準備期間に入ってる御多忙の中にも関わらず、長時間の取材に快く対応して頂いた。

今まで大会会場では何度も見かけていましたが、初めて話すことがあったのは記憶の中では10年ぐらい前に宇都宮市で開催された全日本ノーギアパワーの会場である。何となく怖そうな感じがしてたんですが、偶然彼のグループの試技を審判することになった。

このときには、スクワットの第1試技と第2試技に赤をつけたんで、しゃがみを1センチ程度降ろせばOKみたいなことを伝えた様だ。実は自分もこの日は、関東に単身で向かい全く知らない方と審判をしてたんで、緊張してたのもあり、いつもの様な剽軽な部分は少なかったかと。



power SCRAMBLE

緊張を解して頂いたのが、一緒に審判をさせて頂いた物江審判員（現国際2級）。それ以降会場で会う度に当時の試技についての話が出てきた。安井さんが、この時の試技をきっかけに自身への甘さを認識したと感じられた様だが、その話については以降に書くことにする。

昨年かその前か記憶が定かでないが正道空手（新日本空手道連盟 正道会館）の門下生であったらしい話をどっから聞いて、そのことについても訊ねてみた。以下敬称略

金澤：パワー始めるきっかけは？前にどっかで正道会館におられたらしい話を伺ってます。

安井：コマンドーさん、どっから聞かれました？

金澤：覚えてないけど、何かの話の序でに聞いたかな～？でも正道会館の本部ここから（シロクマジム）すぐそこですやん。

安井：そうなんですよ。正道会館は22歳から30歳頃まで在籍してました。天理大学の時は合気道部と並行に茶道部にも居ました。

金澤：茶道部？文武両道ですね。

安井：僕の場合は格闘系から始まってますが、小学2年生で初めて柔道をやりました。剣道は痛そうやったんで。

金澤：剣道ね。俺も高校生の頃、2週間ほど体験入門したことがありますわ。中野学校出身の先生で、小手打つのが上手い先生で、めっちゃ痛かったんで気持ち解りますわ（苦）

安井：とにかく強くなることを考えてましたんで、17歳で合気道を初めてました。その後強さをアピールしたく正道会館に入門しました。

金澤：合気道は自分も興味ありますわ。しかし色んな経歴をおもちで……。で、ソ連に行かれてた時期もあるとかで、スペツナズ（見えない敵と言われる特殊部隊）で訓練受けたとか……？？？？

安井：行ける訳ないやん（大爆笑）

金澤：ほんならK.G.B.（カーゲーベ）も？

安井：なんか、そっち方向に話が向いてますね。

この間にも雑談が沢山あり、とても書ききれないが、ソ連には外国人の為ツーリストビューラー経由で留学とホームステイを経験されたとのこと。何でソ連なのか？大学の専攻がロシア語であったことに起因される様だが、もっとロシア語が堪能であったら、公安警察などの道に歩いておられたのかも想像してしまっただ。

安井：ソ連に行ったのは、サンクトペテルブルグ～オデッサ、キエフ、モスクワです。1993年の1ヶ月で、さらばシベリア鉄道でオデッサまで30人ぐらいで行ってました。研修旅行みたいな感じです。その後1994年2月に休学して旅行に出て、95年7月に帰国しました。

コマンドーさん、さっき何でソ連かって聞かれてましたけど、ソ連の格闘技（家）に憧れてたんです。ほんで、合気道初段とったら行こうと思ってたんですけど、三段とってから行きました。（財）合気会に就職して内弟子になるか？とも考えたんですけど、師匠から合気道の世界だけでなく、他の格闘技にも精通しろって言われて正道会館に行きました。

合気道は、信太山駐屯地（しのだやま 大阪府和泉市にある）でも隊員や子供にも指導をしてましたし、純粋に合気道をやりたいという隊員に指導してました。

自衛隊の徒手には日本拳法の動きに似たルール無用の戦闘術があるが、それとは別に技術を取り入れたいというのは警察官などでもあるので特別なことではない。

2016年

パワーハウス合宿

IN 赤穂



日時: 7月30(土)・31(日)

30日 13:00~トレーニング開始

16:30~古城資久選手による

アンチドーピング講習会予定

31日 9:30~海水浴(唐船サンビーチ)



~参加費~



練習+宴会+宿泊: 1人部屋: ¥8,000

2~3人部屋: ¥7,500

(朝食ご希望の方は別途¥648頂きます。)

練習+宴会のみ: ¥3,500

申込締切り: 7月15日(金)